

競 技 注 意 事 項

1. 開会式 第1日目 9:10(集合完了9:00)

A. 集合

イ、各校旗手が整列。

ロ、メインスタンドに向って右より大津商・大津……と前頁学校順に整列。

B. 式次第

イ、開式通告

ロ、国旗・高体連旗・滋賀陸協旗掲揚

ハ、優勝杯・優勝盾返還

男子 総 合	彦根翔西館高校	女子 総 合	草 津 東高校
トラック	草 津 東高校	トラック	草 津 東高校
フィールド	彦根翔西館高校	フィールド	彦根翔西館高校

ニ、挨拶 高体連陸上競技部長 中村 公治

ホ、競技開始宣言 審判長

ヘ、選手代表宣誓 彦根翔西館高校 安井 聖真

ト、閉式通告

2. 閉会式 第3日目 競技終了後

A. 集 合 関係する選手

B. 式次第

イ、開式通告

ロ、成績発表

ハ、表彰 賞状・優勝杯・優勝盾授与

ニ、大会新記録樹立者紹介、最優秀選手賞授与(男・女)、総合優勝監督賞授与(男女)

ホ、挨拶 高体連陸上競技部長 中村 公治

ヘ、国旗、高体連旗・滋賀陸協旗降納

ト、閉式通告

3. 競 技

A. 2021年日本陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項によって競技を行う。

B. 招集の手順について

イ、選手招集は雨天練習場で行う。

ロ、招集開始時刻が来たら係員にアスリートビブスとスパイクの確認を受け、選手係の誘導指示に従う。最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻までに招集所に「二種目同時届」を提出すること。

ハ、競技に出場しない場合は必ず「欠場届」を事前に提出しなければならない。用紙は招集所にあるので、必要な事項を記入のうえ、招集所へ提出すること。

ニ、招集時刻(競技開始時刻を基準とする。)

ト ラ ッ ク 競 技 予 選											
100m・200m・400m			800m・110mH・100mH 400mH・4×100m			1500m・4×400m			5000m 3000mSC		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1～4	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前	1	25分前	15分前
5～8	15分前	5分前	4～6	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前	2	15分前	5分前
9～12	5分前	5分後	7～9	5分前	5分後	5	5分前	5分後			
13～16	5分後	15分後	10～12	5分後	15分後						
16～	15分後	25分後									

トラック	
準決勝・決勝	
開始	完了
25分前	15分前

フィールド			
予選・決勝		男子走幅跳予選	
開始	完了	開始	完了
50分前	40分前	60分前	50分前

ホ、混成競技の招集は、第1日目及び第2日目の最初の種目については、正規の招集手段で招集所にて行う。
2種目目以降は現地でチェックを受けること。

へ、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち込むことを禁止する。

ト、競技者に対する助力については、競技規則第144条に準ずる。

C. 写真判定にともなう腰ナンバー標識について

右側後方に腰ナンバー標識をつけること。

D. 競技の抽選及び番組編成について

イ、予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。なお準決勝、決勝の組み合わせ(レーン順、試技順)は全て番組編成員が行う。

ロ、リレー競走に出場するチームは、その種目(第1組)の招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し提出すること。また決勝においてもメンバー、オーダーの変更の有無にかかわらず、オーダー用紙にオーダーを記入し、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。

ハ、タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を超える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。ただし、オープンレーンの競技(800mと4×400mRは除く)の同記録者は、全員次のラウンドに進出できる。シードグループの決定で同記録者が出た場合もプラスの決定方法に準ずる。

E. 次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。

(男子) 5000m 18分 5000mW 30分 (女子) 3000m 12分 5000mW 33分

F. 競技用具について

イ、用具は、1人2本までとする。棒高跳用ポールの他は競技場備付けのものを使用する。ただし、やりは本人持参のものを本部で検定の上、使用すること。

ロ、やりの検査は競技時間の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには学校名を記入しておくこと。

ハ、スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

ニ、フィールド競技においては、TR5.5およびTR5.13の適用を除外する。

G. バーの上げ方および予選通過標準記録について

走 高 跳(男)	A: 1m65(練習)	1m70-75-80-85-88-91-94-97-2m00
	B: 1m85	
(女)	A: 1m30(練習)	1m35-38-41-44-47-50-53-56-59-62
	B: 1m50	
棒 高 跳(男)	任意の高さ(練習)	2m50-70-90-3m00-10-20-30-40-50
	任意の高さ(練習)	2m10-20-30-40-50-60-70-80-90-3m00
八 種 走 高 跳	A: 1m25(練習)	A: 1m30 ※150まで5cm、以降3cmずつ上げる
	B: 1m45	B: 1m50 ※以降3cmずつ上げる
七 種 走 高 跳	A: 1m05(練習)	1m10-15-20-25-30-33-36-39-42
	B: 1m25	

[予選通過標準記録]

男子	走幅跳	6m45	砲丸投	11m00	女子	走幅跳	4m80
	三段跳	13m10	円盤投	30m00			
			やり投	45m00			

[計測記録] ※三段跳の踏切板 男子12m 女子9m

男子	走幅跳	6m00	砲丸投	9m00	女子	走幅跳	4m40	砲丸投	8m00
	三段跳	12m70	円盤投	27m00		円盤投	21m00		
			ハンマー投	30m00		やり投	28m00		
			やり投	42m00		ハンマー投	15m00		

※計測記録およびバーの上げ方(練習の高さを含む)については、天候等の状況により変更する場合がある。